事故発生状況と再発防止策（R4.1.28　静岡県沼津市）

国土交通省

【事故発生状況】

開削工法による下水管路の布設工事（夜間施工）において、深さ約2.5mの掘削穴の埋戻し作業中に、管頂部まで（約2.1mの深さまで）埋戻した状態で、土留め矢板を引き抜いた後、埋戻し土を敷き均すために作業員が掘削穴へ下りた際に、側面の土砂が崩落した。

その作業員が生き埋めとなり、意識不明により救急搬送されたが、死亡が確認された。

【事故発生原因】

- 作業がはかどっていたため、管渠を８ｍ施工した後、追加で４ｍ施工したが、埋戻し時点では進捗が遅れてしまったため、遅れを取り戻そうとして施工計画書に記載された施工手順を順守せずに埋戻し作業を行なってしまった（深さ1.5m以上で土留め矢板を撤去していた）
- 元請負者（現場代理人、主任技術者）や地山の掘削及び土留支保工作業主任者による安全確認が不十分であった

【再発防止策】

①施工計画書に基づく作業手順の徹底

埋戻し作業において深さ１．５ｍ未満の状態で地山の掘削及び土留支保工作業主任者による安全確認が終わった後に、土留め矢板を撤去するよう徹底する。作業開始前に現場代理人、作業主任者と作業員にて、当日の作業内容や危険箇所について情報を共有し、作業手順の順守を徹底する。

②工程管理の徹底

元請負者（現場代理人、主任技術者）と第1次、第2次下請負者の間で、情報共有を徹底し、元請負者が全体の工程管理を行う。

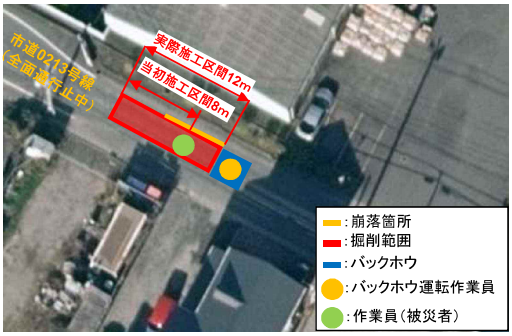
③現場における安全管理の徹底

地山の掘削及び土留め支保工作業主任者を作業全体の見渡せる位置に配置して、作業手順や作業の安全性を監視する。

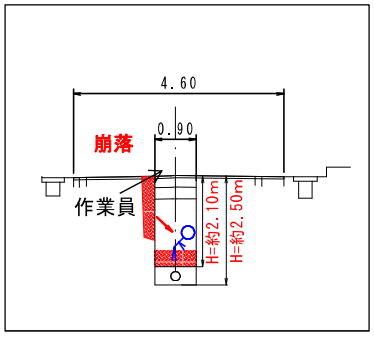
④発注者による安全パトロール

発注者は現場パトロールを実施（１回/月）し、施工計画書に記載された施工手順の順守等を、チェックリストを用いて確認し、安全管理を徹底するように指導する。

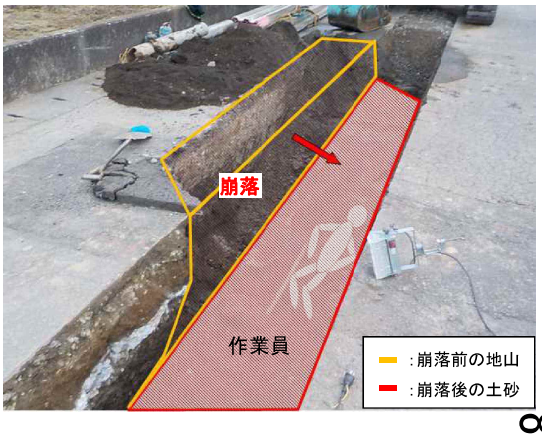
【平面図】



【断面図】



【状況写真】



事　務　連　絡
令和４年３月７日

都道府県下水道担当課長　殿
政令指定都市下水道担当部長　殿
（上記、各地方整備局等経由）
市町村下水道担当部長・課長　殿
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業課長　殿
都市再生機構下水道担当課長　殿

国土交通省水管理・国土保全局下水道部
下水道事業課事業マネジメント推進室　課長補佐

下水道工事における安全対策の徹底（その６の２）について
（令和４年１月２８日静岡県沼津市発注の工事に伴う死亡事故）

本年１月２８日、静岡県沼津市発注の開削工法による下水管路の布設工事（夜間施工）において、深さ約2.5mの掘削穴の埋め戻し作業中に、管頂部まで（約2.1mの深さまで）埋め戻した状態で、土留め矢板を引き抜いた後、埋め戻し土を敷き均すために作業員が掘削穴へ下りた際に、側面の土砂が崩落し、その作業員が生き埋めとなり、意識不明により救急搬送されたが、死亡するという事故が発生しました。

事故原因等を確認した結果、以下の点について安全対策の不備が確認されました。

- 作業がはかどっていたため、管渠を８ｍ施工した後、追加で４ｍ施工したが、埋戻し時点では進捗が遅れてしまったため、遅れを取り戻そうとして施工計画書に記載された施工手順を順守せずに埋戻し作業を行なってしまった（深さ 1.5m 以上で土留め矢板を撤去していた）
- 元請負者（現場代理人、主任技術者）や地山の掘削及び土留支保工作業主任者による安全確認が不十分であった

事故原因等を受けまして、別紙の通りの再発防止策を行うこととされました。

各下水道管理者におかれましては、引き続き工事現場への パトロールを通じ、施工計画書等に基づく作業手順通りの施工や安全管理の徹底など改めて確認するとともに、当該再発防止策も参考として安全管理に対する指導を徹底することで受注者の安全意識の醸成を図り、事故の未然防止に努めていただくようお願いします。

事　務　連　絡
令和４年３月16日

都道府県下水道担当課長
政令指定都市下水道担当部長
（上記、各地方整備局等経由）
市町村下水道担当部長・課長
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業課長
都市再生機構下水道担当課長
殿

国土交通省水管理・国土保全局
下　水　道　部
下　水　道　企　画　課
管理企画指導室企画専門官
下　水　道　事　業　課
事業マネジメント推進室課長補佐

下水道セーフティネットNO.244について
（令和４年２月分）

１．人身事故

（１）維持管理作業

令和４年２月は１件（死亡：０件、負傷：１件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べ３件減少しました。

負傷事故の事例として、汚泥脱水機への潤滑油の注入作業において、作業員が高さ 90cm の踏み台に乗って汚泥脱水機の扉を開けようと力を込めたところ、想定よりも軽く開いたため体勢を崩して踏み台から転落し、右手首を床に打ち負傷するという事故が発生しました。

（２）工事

令和４年２月は９件（死亡：０件、負傷：９件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べ事故総数は５件減少しました。

負傷事故の事例として、作業員が掘削穴で軽量鋼矢板の設置作業をしていたところ、掘削側面の土砂が崩壊し、崩壊した土砂が作業員の右上腕部に直撃し、負傷するという事故が発生しました。

２．水質事故等

令和４年２月は２件（水質事故：２件、その他案件：０件）の事故報告があり、昨年の同期間と同数でした。

水質事故の事例として、自然流下の下水道管渠の一部が閉塞し、閉塞地点より上流に位置する低地部にある宅地の公共ますから汚水が溢水するという事故が発生しました。管渠の閉塞の原因は硫化水素(温泉水）による管渠の腐食から土砂が入り込み閉塞したことによります。

３．発生事故を踏まえた今後の対応について

引き続き安全管理を徹底し事故の未然防止に努めるとともに、施設の運転管理や保全管理を適切に実施していただきますようお願いいたします。

※　下水道の維持管理に関する事故、工事現場で事故が発生した場合には、原則各地方整備局等の担当まで報告をお願いします。また、重大な事故の場合は、本省及び各地方整備局の担当まで同時に報告をお願いします。

※　下記のＨＰにて掲載している、下水道セーフティネット、事故データベース、通知等を活用していただき、事故の未然防止に努めていただきますようお願いします。
HP：http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

※　厚生労働省の下記のＨＰに労働災害事例が掲載されていますので、事故の未然防止に活用いただきますようお願いします。
HP：http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx

（担当・問い合わせ先）
国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部
下水道企画課管理企画指導室（維持管理事故（水質事故等含む）担当）
石塚 ： ishizuka-t55uc@mlit.go.jp
TEL:03-5253-8428（直通）　FAX: 03-5253-1597

下水道事業課事業マネジメント推進室（工事事故担当）
工内 ： kunouchi-y2n4@mlit.go.jp
久保田 ： kubota-k2n7@mlit.go.jp
TEL:03-5253-8431（直通）　FAX: 03-5253-1597

令和３年度
下水道に関する人身事故発生状況について
（令和４年２月末時点）

１．　総括

２．　維持管理作業

３．　工事

国土交通省　水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況（総括）
（令和4年2月末時点）

令和3年度　　（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)		1 (2)	1 (2)
	2. 負傷事故	4 (4)	1 (2)	4 (2)	1 (5)	8 (5)	1 (2)	3 (2)	2 (3)	7 (5)	2 (5)	1 (4)		34 (39)	34 (43)
	合計	4 (4)	1 (2)	4 (2)	1 (5)	8 (5)	1 (2)	4 (3)	2 (3)	7 (5)	2 (6)	1 (4)		35 (41)	35 (45)
	累計	4 (4)	5 (6)	9 (8)	10 (13)	18 (18)	19 (20)	23 (23)	25 (26)	32 (31)	34 (37)	35 (41)		－	－
工事	1. 死亡事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)		6 (6)	6 (7)
	2. 負傷事故	8 (0)	5 (7)	5 (5)	1 (7)	6 (9)	13 (11)	6 (9)	8 (14)	10 (18)	9 (10)	9 (14)		80 (104)	80 (109)
	合計	8 (2)	5 (8)	6 (5)	1 (8)	7 (11)	13 (11)	7 (9)	9 (14)	10 (18)	11 (10)	9 (14)		86 (110)	86 (116)
	累計	8 (2)	13 (10)	19 (15)	20 (23)	27 (34)	40 (45)	47 (54)	56 (68)	66 (86)	77 (96)	86 (110)		－	－
合計	1. 死亡事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)		7 (8)	7 (9)
	2. 負傷事故	12 (4)	6 (9)	9 (7)	2 (12)	14 (14)	14 (13)	9 (11)	10 (17)	17 (23)	11 (15)	10 (18)		114 (143)	114 (152)
	合計	12 (6)	6 (10)	10 (7)	2 (13)	15 (16)	14 (13)	11 (12)	11 (17)	17 (23)	13 (16)	10 (18)		121 (151)	121 (161)
	累計	12 (6)	18 (16)	28 (23)	30 (36)	45 (52)	59 (65)	70 (77)	81 (94)	98 (117)	111 (133)	121 (151)		－	－

※下段（）書きは前年度（令和2年度）の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況（維持管理作業）

（令和4年2月末時点）

令和3年度

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
事業主体	1. 都道府県	1	0	1	0	3	0	1	1	3	0	0		10	12
	2. 政令市	2	0	1	1	2	1	2	1	2	0	0		12	9
	3. 一般市	0	1	2	0	3	0	1	0	1	2	1		11	22
	4. 町村	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		2	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	2	1		35	45
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1	2
	2. マンホール	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0		4	6
	3. 処理場	2	1	4	0	6	0	3	2	1	1	1		21	24
	4. ポンプ場	0	0	0	1	1	0	0	0	3	1	0		6	8
	5. その他	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0		3	5
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	2	1		35	45
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		1	2
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		1	0
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1
	負傷事故	4	1	4	1	8	1	3	2	7	2	1		34	43
	1. 墜落・転落	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1		8	16
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	0	1	1	3	0	1	2	1	1	0		11	12
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0		2	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0		3	1
	5. 転倒	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0		5	3
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	2
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		1	2
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	14. その他	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0		4	4
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	2	1		35	45
被災者数（人）	1. 自治体職員	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0		3	3
	2. 委託先業者	3	1	4	1	8	1	3	2	6	2	1		32	47
	3. 第三者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		1	2
	合計（人）	4	1	4	1	8	1	4	2	8	2	1		36	52
	累計	4	5	9	10	18	19	23	25	33	35	36		－	－

令和2年度

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数（人）	1. 自治体職員	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	2. 委託先業者	3	2	1	3	10	2	4	4	4	6	4	4	47
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	合計（人）	4	2	2	5	10	2	4	4	5	6	4	4	52
	累計	4	6	8	13	23	25	29	33	38	44	48	52	－

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース（維持管理作業）

令和4年2月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				事故概要・発生防止策		被災者			
		事業主体	発生施設	事故類型		事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況
2月											
1	R4.2.22	3. 一般市	処理場	②負傷事故	①墜落・転落	汚泥脱水機への潤滑油の注入作業において、作業員が高さ90cmの踏み台に乗って汚泥脱水機の扉を開けようとして力を込めたところ、想定よりも軽く開いたため体勢を崩して踏み台から転落し、右手首を床に打ち負傷した。	・機器やその周辺の清掃 ・点検架台の設置 ・潤滑油注入作業の体制整備 ・KY活動による危険箇所の洗い出し ・危険作業の注意喚起	委託先業者	22	男	右手首骨折

:死亡事故　:負傷事故　:物損事故

3.事故発生状況（工事）
（令和4年2月末時点）

令和3年度

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
事業主体	1. 都道府県	0	1	1	1	2	2	1	0	1	0	1		10	6
	2. 政令市	6	3	4	4	9	9	3	0	1	3	4		46	60
	3. 一般市	4	2	2	0	2	7	3	11	8	10	6		55	71
	4. 町村	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0		4	11
	5. その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		1	1
	合計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14	11		116	149
工事分類	1. 管きょ開削	6	2	8	4	7	12	6	6	7	9	6		73	93
	2. 管きょ推進	1	2	0	0	0	2	0	2	1	1	1		10	19
	3. 管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		1	2
	4. 管きょその他	2	1	1	0	1	0	1	2	1	2	0		11	10
	5. 処ポ土木建築	1	1	0	0	2	1	0	0	1	1	2		9	15
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	0	1	3	1	0	0	1	2		8	8
	7. 処ポその他	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0		4	2
	合計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14	11		116	149
事故類型	1. 墜落・転落	0	0	0	1	1	4	0	1	1	2	0		10	18
	2. はさまれ・巻き込まれ	3	4	3	0	1	4	4	0	5	3	3		30	30
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1		2	7
	4. 切れ・こすれ	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		4	4
	5. 転倒	1	0	0	0	1	0	0	2	3	2	2		11	4
	6. 激突	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		2	13
	7. 土砂崩壊	1	0	0	0	1	1	0	1	0	3	1		8	11
	8. 交通事故	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0		3	2
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	12-1. 公衆災害（人身）	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	1		7	15
	12-2. 公衆災害（物損）	2	1	3	4	6	5	1	2	1	3	2		30	38
	13. 作業車両の横転	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0		2	1
	14. その他	1	0	0	0	2	1	0	2	1	0	0		7	6
	合計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14	11		116	149
被災者数（人）	1. 死亡	0	0	1	0	1	0	1	1	0	2	0		6	7
	2. 重傷（全治1ヶ月以上）	7	4	5	1	4	11	3	4	9	6	7		61	83
	3. 軽傷（全治1ヶ月未満）	1	1	0	0	2	2	3	4	1	3	2		19	26
	合計（人）	8	5	6	1	7	13	7	9	10	11	9		86	116
	累計	8	13	19	20	27	40	47	56	66	77	86		－	－
その他（民間発注工事など）															
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0

令和2年度

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数（人）	1. 死亡	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	7
	2. 重傷	0	4	4	6	8	6	8	13	12	7	11	4	83
	3. 軽傷	0	3	1	1	1	5	1	1	6	3	3	1	26
	合計（人）	2	8	5	8	11	11	9	14	18	10	14	6	116
	累計	2	10	15	23	34	45	54	68	86	96	110	116	－
その他（民間発注工事など）														
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース（工事）

令和4年2月末時点

NO.	発生年月日	事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	被災者 年齢	被災者 性別	被災者 被害状況
2月										
1	R4.2.1	2.政令市	1.管きょ開削	掘削作業	バックホウによる掘削作業中、埋設されていたガス供給管（ＰＥ管φ２５mm）が埋設台帳記載深さと異なっていたため、誤ってバックホウのバケットにより破損した。	現場内	12-2.公衆災害（物損）	－	－	ガス管（φ25mm）損傷
2	R4.2.5	3.一般市	1.管きょ開削	重機誘導	バックホウの後退を誘導中にバックホウのキャタピラと被災者の右足が接触し、負傷した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	55	男	右足首骨折（全治1ヶ月以上）
3	R4.2.14	2.政令市	5.処ポ土木建築	止水板撤去作業	ポンプ場内において、鉄板を吊りクランプで掴み下ろしていたところ、床面まで1m程度の高さでクランプが外れ落下し、作業員側に鉄板が倒れ接触し、負傷した。	現場内	3.飛来・落下	36	男	左下腿骨骨折（全治1ヶ月以上）
4	R4.2.18	2.政令市	1.管きょ開削	掘削作業	汚水ます取付管布設替え作業時、掘削部の路盤が硬くバックホウを使用したところ、想定より浅い位置にガス供給管φ25mmが埋設されていたため、誤ってバックホウのバケットによりガス管を損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）	－	－	ガス管（φ25mm）損傷
5	R4.2.21	3.一般市	1.管きょ開削	ボックスカルバート設置作業	ボックスカルバート設置作業中に基礎コンクリートとボックスカルバートの間に右足を挟み、負傷した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	38	男	右下腿挫創（全治1ヶ月未満）
6	R4.2.22	3.一般市	6.処ポ機械電気	その他	現場事務所から作業現場へ向かう途中、階段を降りる際に足を踏み外して転落し、左側頭部を床に打ち、負傷した。	現場内	1.墜落・転落	77	男	頭蓋骨骨折、頭蓋内出血（全治1ヶ月以上）
7	R4.2.23	2.政令市	1.管きょ開削	土留め工	軽量鋼矢板の圧入中に鋼矢板が曲がってしまったため、曲がった鋼矢板を修正するために引抜作業を行なっていたところ、引抜きのために設置したレバーブロックが勢いよく外れ、顎に接触し負傷した。	現場内	6.激突	25	男	顎骨折（全治1ヶ月以上）
8	R4.2.23	3.一般市	2.管きょ推進	その他	発生時は祝日のため工事は休工中。そのため、工事に係る重機や資器材は現場に出ていなかった。薬液注入工に伴う観測井戸の蓋に通行人の自転車の前輪が乗った際に蓋が反転してしまい、蓋の裏に接着されている爪を自転車の後輪で踏んだ。その際に自転車後輪がパンクしたことにより転倒し、足及び腰を負傷した。	現場内	12-1.公衆災害（人身）	68	男	足の捻挫及び腰の打撲（全治1ヶ月未満）
9	R4.2.25	3.一般市	1.管きょ開削	土留め工	作業員が掘削穴で軽量鋼矢板の設置作業をしていたところ、掘削側面の土砂が崩壊し、崩壊した土砂が作業員の右上腕部に直撃し、負傷するという事故が発生しました。	現場内	7.土砂崩壊	66	男	右上腕骨折（全治1ヶ月以上）
10	R4.2.25	1.都道府県	6.処ポ機械電気	その他	作業員が左手に工具を入れたペール缶（オイル空缶）を持ち、A型バリケード（高さ80cm）を跨いで越えようとしたところ、A型バリケードの先の段差（高さ8cm）につまづき、バランスを崩して転倒し、右手を床について骨折した。	現場内	5.転倒	50	男	右手首の骨折（全治1ヶ月以上）
11	R4.2.25	3.一般市	5.処ポ土木建築	削孔作業	作業員が地下2階から天井部（地下1階）の大梁に上向き削孔作業を行っていたところ、既設電線ケーブルが支障となり作業が出来なかったため、ケーブルを移動させようと右手を寄せた際に作業着右袖がドリル回転部（カップリング）に巻き込まれ負傷した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	56	男	右手開放骨折、右手首靭断裂（全治1ヶ月以上）

：死亡事故　：負傷事故　：物損事故

令和３年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
（令和４年２月末時点）

7

国土交通省　水管理・国土保全局
下水道部

133

水質事故等発生状況
（令和4年2月末時点）

[総括]

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等　合計	**2 (9)**	**3 (3)**	**1 (6)**	**2 (3)**	**5 (5)**	**6 (2)**	**7 (2)**	**2 (5)**	**4 (3)**	**2 (5)**	**2 (2)**		**36 (50)**
	累計	**2 (9)**	**5 (12)**	**6 (18)**	**8 (21)**	**13 (26)**	**19 (28)**	**26 (30)**	**28 (35)**	**32 (38)**	**34 (43)**	**36 (45)**		**－　－**

[内訳]

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (2)	2 (2)	1 (0)	2 (1)	1 (3)	0 (2)		8 (15)
	2. 政令市	0 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (2)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (3)	0 (2)	0 (0)	1 (0)		11 (8)
	3. 一般市	2 (6)	1 (2)	1 (4)	1 (1)	2 (4)	3 (0)	2 (0)	1 (2)	2 (0)	0 (1)	1 (0)		16 (24)
	4. 町村	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)		1 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)		36 (50)
発生施設	1. 管渠	2 (5)	1 (1)	0 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (1)	2 (1)	1 (2)	1 (0)		15 (15)
	2. マンホール	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (1)		7 (10)
	3. 処理場	0 (3)	0 (2)	0 (1)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (1)	1 (0)		8 (14)
	4. ポンプ場	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (1)		4 (5)
	5. その他	0 (1)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		2 (6)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)		36 (50)
原因者	1. 下水道管理者（委託先含む）	0 (3)	1 (3)	0 (5)	0 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	0 (4)	3 (1)	0 (0)	0 (2)		10 (25)
	2. 民間事業者（一般人を含む）	2 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)		8 (7)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (4)	1 (0)	0 (1)	2 (1)	2 (2)	4 (1)	3 (0)	2 (0)	0 (1)	2 (5)	2 (0)		18 (18)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)		36 (50)
事故類型	① 悪質下水の流入（放流水質が基準に不適合）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)		0 (2)
	② 悪質下水の流入（放流水質が基準に適合）	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)		1 (3)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (2)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)		5 (7)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		5 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (5)	0 (1)	1 (2)	1 (2)	3 (1)	1 (1)	3 (1)	0 (2)	3 (2)	2 (2)	1 (1)		16 (22)
	⑥ その他事故（①～⑤以外の事故）	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		3 (1)
	水質事故　合計	2 (9)	1 (2)	1 (4)	2 (2)	5 (4)	4 (2)	6 (2)	1 (3)	4 (2)	2 (4)	2 (1)		30 (40)
	その他案件	0 (0)	2 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (1)		6 (10)
	水質事故等　合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)		36 (50)
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)		3 (5)
	② 耐用年数以内	1 (0)	2 (1)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	3 (1)	3 (0)	0 (1)	1 (2)	1 (3)	2 (0)		14 (13)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)
	合計	1 (0)	2 (2)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	4 (1)	4 (2)	0 (3)	2 (2)	1 (3)	2 (0)		17 (18)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計
※（　）書きは、前年度（令和2年度）の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

8

水質事故等情報データベース

令和4年2月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型		事故概要	事故への対応
2月							
1	R4.2.15	2.政令市	処理場	水質事故	③悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	3号及び4号汚泥焼却炉により汚泥焼却を行っていたが、4号炉が火災により停止し、3号炉単独で汚泥焼却を行っていたところ汚泥焼却能力不足により水処理系内の滞留汚泥が飽和状態となり、処理場からの放流水のBOD計測値が基準値の15mg/lを上回る22mg/lとなった。	応急対応として、未焼却汚泥の搬出による水処理への負荷軽減や漁協への連絡を行った。 今後の対応として、4号炉の火災原因の究明及び未焼却汚泥発生時の処分ルートの事前確保を行うこととする。 放流水質については、CODやSS等日常的にモニタリング可能な検査項目により引き続き監視を続ける。
2	R4.2.22	3.一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	自然流下の下水道管渠の一部が閉塞し、閉塞地点より上流に位置する低地部にある宅地の公共ますから汚水が溢水した。 管渠の閉塞の原因は硫化水素(温泉水)による管渠の腐食から土砂が入り込み閉塞したことによる。	応急対応として、市(環境部局・市建設部局)、県(建設部局)、国(河川管理者)へ連絡を行うとともに、バキューム車による汚水吸引や溢水に対し塩素消毒等を行った。 今後の対応として、腐食している区間の更新を行う。

事　務　連　絡
令和４年３月29日

各都道府県下水道担当課長　殿
各政令指定都市下水道担当部長　殿
（上記　各地方整備局等経由）
各市町村下水道担当課長　殿
（上記　各都道府県経由）
日本下水道事業団事業統括部事業課長　殿

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部
下水道事業課 事業マネジメント推進室 課長補佐

下水道機械・電気設備工事における「予定価格に占める法定福利費概算額」の算定について

建設業の担い手の育成及び確保には、法定福利費等の実際の施工に要する通常妥当な経費を反映した適正な金額で契約を締結し、社会保険等に加入するための原資となる法定福利費が、発注者から元請企業、下請企業へ、更に個々の技能労働者まで適正に支払われるようにすることが重要です。このため、法定福利費の適切な支払いのための取組の実効性を図る観点から、「請負代金内訳書における法定福利費の明示による法定福利費の適切な支払いのための取組について」（令和３年12月１日付け総行行第419号・国不入企第33号）が発出されております。

この度、下水道機械・電気設備工事において、法定福利費に相当する額が適切に請負契約に計上されていることを確認できるよう、予定価格に占める法定福利費概算額の算定について下記のとおりとしますので参考にして下さい。

記

１　下水道機械・電気設備工事における法定福利費概算額（事業主負担額）の算定の範囲
　法定福利費概算額（事業主負担額）の算定は、工事価格から機器費、設計技術費及び一般管理費等を除いた範囲とする。

２　法定福利費概算額（事業主負担額）の算定
　法定福利費概算額（事業主負担額）は、据付工事原価に下表の割合を乗じて算定する。

設　備　区　分	割　合
下水道機械設備工事	3.7%
下水道電気設備工事	4.1%

国 水 下 事 第 59 号
令 和 4 年 3 月 29 日

各 地 方 整 備 局 長　殿
北 海 道 開 発 局 長　殿
沖 縄 総 合 事 務 局 長　殿

国土交通省水管理・国土保全局
下水道部長
（公　印　省　略）

下水道用設計標準歩掛表の一部改定について（令和４年度版）

標記について、令和４年度版として別添のとおり改定したので通知する。

（別添）
・改定事項概要
・新旧対照表（第１巻 管路編、第２巻ポンプ場・処理場編）
※なお、第３巻 設計委託編の改定はありませんので省略いたします。

国 水 下 事 第 59 号
令 和 4 年 3 月 29 日

都道府県下水道担当部長　殿
政令指定都市下水道担当局長　殿
日本下水道事業団技術戦略部長　殿

国土交通省水管理・国土保全局
下水道部長
（公　印　省　略）

下水道用設計標準歩掛表の一部改定について（令和４年度版）

標記について、令和４年度版として各地方整備局にあて別添のとおり通知したので参考送付する。

なお、各都道府県におかれては、貴管内の市町村（政令指定都市を除く。）に対しても周知方お願いする。

（別添）
・改定事項概要
・新旧対照表（第１巻 管路編、第２巻 ポンプ場・処理場編）
※なお、第３巻 設計委託編の改定はありませんので省略いたします。

下水道用設計標準歩掛表（令和４年度版）の改定内容

○ 第１巻　管路　編

〔管路施設〕

- 鋼製さや管ボーリング（一重ケーシング）推進工法の発動発電機規格の改定。

  経緯:施工合理化調査の結果から､発動発電機の使用規格に変化が見られたため。
- 「建設機械等損料表」の改定に伴う、発動発電機の指定事項の改定。
- 国土交通省工事工種体系ツリーを参考として、本工事費内訳を改定。

○ 第２巻　ポンプ場・処理場　編

〔土　　木〕

- 伸縮継手工（伸縮目地充填）、左官工（コンクリート金ごて仕上げ、モルタル金ごて仕上げ、防水モルタル金ごて仕上げ）の削除。
- 国土交通省工事工種体系ツリーを参考として、本工事費内訳を改定。

〔機械設備〕

- 輸送費を算出する場合､「国土交通省自動車局貨物課一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃表」によっても算出できる旨を記載。
- 共通仮設費率に含まれる安全費として、「熱中症の予防に要する費用」を追記。
- 「機械設備積算基準」の改定に伴い、一般管理費等率を改定。
- コンクリート金ごて仕上げ工の削除。

〔電気設備〕

- 輸送費を算出する場合､「国土交通省自動車局貨物課一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃表」によっても算出できる旨を記載。
- 共通仮設費率に含まれる安全費として、「熱中症の予防に要する費用」を追記。
- 配電盤設備のうち配電盤－２(変圧器盤)の歩掛表の見直し及び一部歩掛の改定。

  経緯：施工実態調査の結果から、歩掛に変化が見られたため。
- 計装設備のうち電磁流量計及び検出端等（温度検出端、液位検出端、変換器類、発信機類）の歩掛の改定。

  経緯：施工実態調査の結果から、歩掛に変化が見られたため。

〔建築・建築設備〕

- 揚重機械器具の規格、存置日数の改定。
- 外部足場の計測、計算例の存置日数を改定。

  経緯：国土交通省大臣官房官庁営繕部の技術基準である「公共建築工事積算基準等資料」との語句等の整合を図った。

○ 第３巻　設計委託　編

- なし

下水道用設計標準歩掛表（令和４年度版）の改定

新旧対照表

―第１巻　管路―

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名	管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
7	本工事費内訳の改定		

		補助地盤改良工							B－6
			薬液注入		式or本				C－15

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名	管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
7	本工事費内訳の改定		

Ⅰ　本工事費内訳

費目（レベル１）	工種（レベル２）	種別（レベル３）	細別（レベル４）	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
管路									
	管きょ工（管径○○mm）								A－1
		管路土工							B－1
			管路掘削		式orm^3				C－1
			管路埋戻		式orm^3				C－2
			発生土処理		式orm^3				C－3
			埋戻土運搬		式orm^3				*
		管布設工							B－2
			鉄筋コンクリート管		m				C－4
			陶管		m				*
			硬質塩化ビニル管		m				C－5
			強化プラスチック複合管		m				C－6
			リブ付硬質塩化ビニル管		m				C－7
			レジンコンクリート管		m				*
			既製く形きょ		m				*
			ポリエチレン管		m				*
			鋼管		m				*
			鋳鉄管		m				*
			伸縮可とう継手（管）		箇所				*
			継手類		式or箇所				*
			マンホール削孔接続		箇所				*
			弁類		箇所				*
			弁ます類		箇所				*
			埋設標識テープ		m				*
		管基礎工							B－3
			砂基礎		m				C－8
			砕石基礎		m				C－9
			はしご胴木基礎		m				C－10
			コンクリート基礎		m				*
			まくら土台基礎		m				*
			コンクリートまくら土台基礎		m				*
			鳥居胴木基礎		m				*
			ソイルセメント基礎		m				*
			ベッドシート基礎		m				*
		水路築造工							*
			既製く形きょ		m				*
			現場打水路		m				*
			柵きょ		m				*
			既製開きょ		m				*
		管路土留工							B－4
			溝掘り		式or㎥				*
			たて込み簡易土留		式or㎡				C－11
			軽量鋼矢板土留		式or㎡				C－12
			アルミ矢板土留		式or㎡				C－13
			木矢板土留		式or㎡				*
			親杭横矢板土留		式or㎡				*
			鋼矢板土留		式or㎡				*
		埋設物防護工							*
			埋設物防護		式or箇所				*
		管路路面覆工							B－5
			覆工		式or㎡				C－14
		補助地盤改良工							B－6
			薬液注入		式or本				C－15

Ⅰ　本工事費内訳

~~費目（レベル１）~~ 工事区分	~~工種（レベル２）~~ 工種	~~種別（レベル３）~~ 種別	~~細別（レベル４）~~ 細別	レベル５ 規格	総括表用単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
管路									
	管きょ工（管径○○mm）								A－1
		管路土工							B－1
			管路掘削		式orm^3				C－1
			管路埋戻		式orm^3				C－2
			発生土処理		式orm^3				C－3
			埋戻土運搬		式orm^3				~~*~~
		管布設工							B－2
			鉄筋コンクリート管		m				C－4
			~~陶管~~		~~m~~				~~*~~
			硬質塩化ビニル管		m				C－5
			強化プラスチック複合管		m				C－6
			リブ付硬質塩化ビニル管		m				C－7
			レジンコンクリート管		m				~~*~~
			既製く形きょ		m				~~*~~
			ポリエチレン管		m				~~*~~
			鋼管		m				~~*~~
			鋳鉄管		m				~~*~~
			伸縮可とう継手（管）		箇所				~~*~~
			継手類		式or箇所				~~*~~
			マンホール削孔接続		箇所				~~*~~
			弁類		箇所				~~*~~
			弁ます類		箇所				~~*~~
			埋設標識テープ		m				~~*~~
		管基礎工							B－3
			砂基礎		m				C－8
			砕石基礎		m				C－9
			はしご胴木基礎		m				C－10
			コンクリート基礎		m				~~*~~
			まくら土台基礎		m				~~*~~
			~~コンクリートまくら土台基礎~~		~~m~~				~~*~~
			~~鳥居胴木基礎~~		~~m~~				~~*~~
			ソイルセメント基礎		m				~~*~~
			ベッドシート基礎		m				~~*~~
		水路築造工							~~*~~
			既製く形きょ		m				~~*~~
			現場打水路		m				~~*~~
			柵きょ		m				~~*~~
			既製開きょ		m				~~*~~
		管路土留工							B－4
			溝掘り		式or~~㎥~~m				*
			たて込み簡易土留		式orm				C－11
			軽量鋼矢板土留		式orm				C－12
			アルミ矢板土留		式orm				C－13
			木矢板土留		式orm				~~*~~
			親杭横矢板土留		式orm				~~*~~
			鋼矢板土留		式orm				~~*~~
		埋設物防護工							~~*~~
			埋設物防護		式or箇所				~~*~~
		管路路面覆工							B－5
			覆工		式or㎡				C－14

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　第１巻　管路

工種名	管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
8	本工事費内訳の改定		

			~~仮設~~H鋼杭		式or本				＊
			切梁・腹起し		式or t				＊
			横矢板		式orm²				＊

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　第１巻　管路

工種名	管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行
8	本工事費内訳の改定	

費目（レベル１）	工種（レベル２）	種別（レベル３）	細別（レベル４）	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
			高圧噴射攪拌		式or本				＊
			機械攪拌		式or本				＊
		開削水替工							B－7
			開削水替		式or日				C－16
		地下水低下工							＊
			ウエルポイント		式or日				＊
	マンホール工								A－2
		現場打ちマンホール工							B－8
			１号マンホール		箇所				C－17
			２号マンホール		箇所				C－17
			３号マンホール		箇所				C－17
			４号マンホール		箇所				C－17
			５号マンホール		箇所				C－17
			６号マンホール		箇所				C－17
			７号マンホール		箇所				C－17
			外副管		箇所				C－18
			内副管		箇所				C－19
		組立マンホール工							B－9
			組立０号マンホール		箇所				C－20
			組立１号マンホール		箇所				C－20
			組立２号マンホール		箇所				C－20
			組立３号マンホール		箇所				C－20
			組立４号マンホール		箇所				＊
			組立５号マンホール		箇所				＊
			外副管		箇所				C－18
			内副管		箇所				C－19
		小型マンホール工							B－10
			小型マンホール（○○製）		箇所				C－21･22
	特殊マンホール工								A－3＊
		管路土工							B－1
			管路掘削		式orm³				C－1
			管路埋戻		式orm³				C－2
			発生土処理		式orm³				C－3
			埋戻土運搬		式orm³				＊
		躯体工							＊
			基礎材		m²				＊
			均しコンクリート		m²				＊
			コンクリート		m³				＊
			型枠		式orm²				＊
			支保		式or 延m²				＊
			足場		式or 延m²				＊
			鉄筋		t				＊
			モルタル		m²				＊
			足掛金物		本				＊
			外副管		箇所				＊
			内副管		箇所				＊
			マンホール上部ブロック		箇所				＊
			コンクリート防食被覆		m²				＊
		土留工							＊
			溝掘り		式orm				＊
			仮設鋼矢板		式or枚				＊
			仮設軽量鋼矢板		式or枚				＊
			仮設H鋼杭		式or本				＊
			切梁・腹起し		式or t				＊
			横矢板		式orm²				＊

費目（レベル１）工事区分	工種（レベル２）工種	種別（レベル３）種別	細別（レベル４）細別	レベル５規格	総括表用単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
			高圧噴射攪拌		式or本				＊
			~~機械攪拌~~		~~式or本~~				~~＊~~
		開削水替工							B－7
			開削水替		式or日				C－16
		地下水~~位~~低下工							~~＊~~
			ウエルポイント		式or日				＊
	マンホール工								A－2
		現場打ちマンホール工							B－8
			１号マンホール		箇所				C－17
			２号マンホール		箇所				C－17
			３号マンホール		箇所				C－17
			４号マンホール		箇所				C－17
			５号マンホール		箇所				C－17
			６号マンホール		箇所				C－17
			７号マンホール		箇所				C－17
			外副管		箇所				C－18
			内副管		箇所				C－19
		組立マンホール工							B－9
			組立０号マンホール		箇所				C－20
			組立１号マンホール		箇所				C－20
			組立２号マンホール		箇所				C－20
			組立３号マンホール		箇所				C－20
			組立４号マンホール		箇所				~~＊~~
			組立５号マンホール		箇所				~~＊~~
			外副管		箇所				C－18
			内副管		箇所				C－19
		小型マンホール工							B－10
			小型マンホール（○○製）		箇所				C－21･22
	特殊マンホール工								A－3~~＊~~
		管路土工							B－1
			管路掘削		式orm³				C－1
			管路埋戻		式orm³				C－2
			発生土処理		式orm³				C－3
			埋戻土運搬		式orm³				~~＊~~
		躯体工							~~＊~~
			基礎材		m²				＊
			均しコンクリート		m²				＊
			コンクリート		m³				＊
			鉄筋		t				＊
			型枠		式orm²				＊
			支保		式or 延m²				＊
			足場		式or 延m²				＊
			モルタル		m²				~~＊~~
			足掛金物		本				~~＊~~
			外副管		箇所				~~＊~~
			内副管		箇所				~~＊~~
			マンホール上部ブロック		箇所				~~＊~~
			コンクリート防食被覆		m²				~~＊~~
		土留工							~~＊~~
			溝掘り		式or~~m~~m				＊
			~~仮設~~鋼矢板		式or枚				＊
			広幅鋼矢板		式or枚				＊
			~~仮設~~軽量鋼矢板		式or枚				＊

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名　管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
9	本工事費内訳の改定		

			発生土処理		式or㎥				C－3
		管路土工							B－1
			管路掘削		式or㎥				C－1
			管路埋戻		式or㎥				C－2
			発生土処理		式or㎥				C－3
			埋戻土運搬		式or㎥				＊
		舗装復旧工(撤去)							＊
			不陸整正		m²				＊
			下層路盤		m²				＊
			上層路盤		m²				＊
			基層		m²				＊
			表層		m²				＊
			コンクリート舗装		m²				＊
			転圧コンクリート舗装		m²				＊

139

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名　管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行
9	本工事費内訳の改定	

費目（レベル１）	工種（レベル２）	種別（レベル３）	細別（レベル４）	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
		路面覆工							＊
			覆工板受桁		式or t				＊
			覆工板		式or㎡				＊
			覆工鉄板		式or㎡				＊
			覆工板日々取付取り外し		式	1			＊
		補助地盤改良工							B－6
			薬液注入		式or本				C－15
			高圧噴射攪拌		式or本				＊
			機械攪拌		式or本				＊
		開削水替工							B－7
			開削水替		式or日				C－16
		地下水低下工							＊
			ウエルポイント		式or日				＊
			ディープウエル		式or日				＊
	取付管布設工								A－4
		管路土工							B－1
			管路掘削		式or㎥				C－1
			管路埋戻		式or㎥				C－2
			発生土処理		式or㎥				C－3
			埋戻土運搬		式or㎥				＊
		ますの設置工							B－11
			ます（○○製）		箇所				C－23
		取付管布設工							B－12
			取付管（○○管）		mor箇所				C－24
			取付管（推進）		m				＊
		管路土留工							B－4
			軽量鋼矢板土留		式orm				C－12
			アルミ矢板土留		式orm				C－13
			木矢板土留		式orm				＊
		開削水替工							B－7
			開削水替		式or日				C－16
	地盤改良工								A－9＊
		固結工							＊
			高圧噴射攪拌		本				＊
			機械攪拌		本				＊
	付帯工								A－10
		舗装撤去工							＊
			舗装版切断		m				＊
			舗装版破砕		m²				＊
			路面切削		m²				＊
			殻運搬処理		m³				＊
			発生土処理		式orm³				C－3
		管路土工							B－1
			管路掘削		式orm³				C－1
			管路埋戻		式orm³				C－2
			発生土処理		式orm³				C－3
			埋戻土運搬		式orm³				＊
		舗装復旧工(撤)(指)							＊
			不陸整正		m²				＊
			下層路盤		m²				＊
			上層路盤		m²				＊
			基層		m²				＊
			表層		m²				＊
			コンクリート舗装		m²				＊
			転圧コンクリート舗装		m²				＊

改定

費目（レベル１）工事区分	工種（レベル２）工種	種別（レベル３）種別	細別（レベル４）細別	レベル５規格	総括表用単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
		路面覆工							＊
			覆工板受桁		式or t				＊
			覆工板		式or㎡				＊
			覆工鉄板		式or㎡				＊
			覆工板日々取付取り外し		式 1				＊
			覆工板設置・撤去		式or㎡				＊
			覆工板・覆工板受桁		式or㎡				＊
		補助地盤改良工							B－6
			薬液注入		式or本				C－15
			高圧噴射攪拌		式or本				＊
			機械攪拌		式or本				＊
		開削水替工							B－7
			開削水替		式or日				C－16
		地下水位低下工							＊
			ウエルポイント		式or日				＊
			ディープウエル		式or日				＊
	取付管布設工								A－4
		管路土工							B－1
			管路掘削		式or㎥				C－1
			管路埋戻		式or㎥				C－2
			発生土処理		式or㎥				C－3
			埋戻土運搬		式or㎥				＊
		ますの設置工							B－11
			ます（○○製）		箇所				C－23
		取付管布設工							B－12
			取付管（○○管）		mor箇所				C－24
			取付管（推進）		m				＊
		管路土留工							B－4
			軽量鋼矢板土留		式orm				C－12
			アルミ矢板土留		式orm				C－13
			木矢板土留		式orm				＊
		開削水替工							B－7
			開削水替		式or日				C－16
	地盤改良工								A－9＊
		固結工							＊
			高圧噴射攪拌		本				＊
			機械攪拌		本				＊
			薬液注入		本				C－15
	付帯工								A－10
		舗装撤去版破砕工							＊
			殻運搬		m³				＊
			殻処分		m³				＊
			舗装版切断		m				＊
			舗装版破砕		m²				＊
			路面切削		m²				＊
			殻運搬処理		m³				＊
			発生土処理		式orm³				C－3
		路面切削工							
			路面切削		m²				＊
			殻運搬（路面切削）		m³				＊
			殻処分		m³				＊

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名	管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
10	本工事費内訳の改定		

			平石張		m²				●
		区画線工							~~●~~
			溶融式区画線		m				●
			ペイント式区画線		m				●
			高視認性区画線		m				●
			区画線消去		m				●
			区画線消去（ＷＪ式日当施工量未満）		式				●
		~~道路付属物撤去工~~							~~●~~
			~~排水構造物撤去A~~		~~m~~				~~●~~
			~~排水構造物撤去B~~		~~箇所~~				~~●~~
			~~防護柵撤去（ガードレール）~~		~~m~~				~~●~~
			~~防護柵撤去（ガードパイプ）~~		~~m~~				~~●~~
			~~防護柵撤去（ガードケーブル）~~		~~m~~				~~●~~
			~~歩車道境界ブロック撤去~~		~~m~~				~~●~~
			殻運搬処理		m³				~~●~~
		排水構造物撤去工							
			L型側溝撤去		式or m				●
			ﾋｭｰﾑ管撤去		式or m				●
			ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ撤去		式or m				●
			ＰＣ管撤去		式or m				●
			暗渠排水管撤去		式or m				●
			管(函)渠型側溝撤去		式or m				●
			集水桝撤去		式or 箇				●
			ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾞｲﾌﾟ撤去		式or m				●
			ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾗｭｰﾑ撤去		式or m				●
			マンホール撤去		式or 箇				●
			鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管撤去		式or m				●
			Ｕ型側溝撤去		式or m				●
			蓋版撤去		式or 枚				●
		防護柵撤去工							
			防護柵撤去（ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ）		式or m				●
			防護柵撤去（ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ）		式or m				●
			防護柵(横断・転落防止柵)撤去		式or m				●
			ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ撤去		式or m				
		縁石撤去工							
			歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去		式or m				●
			地先境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去		式or m				●
		運搬処理工							
			殻運搬		m³				●
			殻処分		m³				●
		~~道路付属物設置工~~							~~●~~
			~~L型側溝~~		~~m~~				~~●~~
			~~管(函)渠型側溝~~		~~m~~				~~●~~
			~~プレキャストU型側溝~~		~~m~~				~~●~~
			~~側溝蓋~~		~~枚~~				~~●~~
			~~自由勾配側溝~~		~~m~~				~~●~~
			~~ガードレール~~		~~m~~				~~●~~
			~~ガードケーブル~~		~~m~~				~~●~~
			~~ガードパイプ~~		~~m~~				~~●~~
			~~歩車道境界ブロック~~		~~m~~				~~●~~

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名	管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行
10	本工事費内訳の改定	

費目（レベル1）	工種（レベル2）	種別（レベル3）	細別（レベル4）	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
			縦目地		m				●
			横目地		m				●
			ブロック舗装		m²				●
			平石張		m²				●
			凍上抑制層		m²				●
		舗装復旧工（種別毎）							●
			不陸整正		m²				●
			下層路盤		m²				●
			上層路盤		m²				●
			基層		m²				●
			表層		m²				●
			ブロック舗装		m²				●
			平石張		m²				●
		区画線工							●
			溶融式区画線		m				●
			ペイント式区画線		m				●
		道路付属物撤去工							●
			排水構造物撤去A		m				●
			排水構造物撤去B		箇所				●
			防護柵撤去（ガードレール）		m				●
			防護柵撤去（ガードパイプ）		m				●
			防護柵撤去（ガードケーブル）		m				●
			歩車道境界ブロック撤去		m				●
			殻運搬処理		m³				●
		道路付属物復旧工							●
			L型側溝		m				●
			管（渠）渠型側溝		m				●
			プレキャストU型側溝		m				●
			側溝蓋		枚				●
			自由勾配側溝		m				●
			ガードレール		m				●
			ガードケーブル		m				●
			ガードパイプ		m				●
			歩車道境界ブロック		m				●
			地先境界ブロック		m				●
			アスカーブ		m				●
			車止めポスト		本				●
			雨水ます取付管復旧工		箇所				●
		道路植栽工							●
			植樹		本				●
			支柱		本				●
			地被類植付		m²				●
			樹木剪定		本				●
			高植剪定		m²				●
			樹木施肥		本				●
			高植・芝施肥		m²				●
			抜根除草		m²				●
			芝刈		m²				●
			灌水		m²				●
			防除		本				●
			移植		本				●
			高植・芝薬剤散布		m²				●

改定

~~費目（レベル1）工事区分~~	~~工種（レベル2）工種~~	~~種別（レベル3）種別~~	~~細別（レベル4）細別~~	~~レベル5 規格~~	~~総括表用単位~~	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
			~~縦目地~~		~~m~~				~~●~~
			~~横目地~~		~~m~~				~~●~~
			~~ブロック舗装~~		~~m²~~				~~●~~
			~~平石張~~		~~m²~~				~~●~~
			~~凍上抑制層~~		~~m²~~				~~●~~
		舗装復旧準備工							
			不陸整正		m²				●
		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧工							
			下層路盤(車道・路肩部)		m²				●
			下層路盤(歩道部)		m²				●
			上層路盤(車道・路肩部)		m²				●
			上層路盤(歩道部)		m²				●
			基層(車道・路肩部)		m²				●
			基層(歩道部)		m²				●
			中間層(車道・路肩部)		m²				●
			中間層(歩道部)		m²				●
			表層(車道・路肩部)		m²				●
			表層(歩道部)		m²				●
		ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧工							
			下層路盤(車道・路肩部)		m²				●
			下層路盤(歩道部)		m²				●
			上層路盤(車道・路肩部)		m²				●
			上層路盤(歩道部)		m²				●
			中間層(車道・路肩部)		m²				●
			中間層(歩道部)		m²				●
			コンクリート舗装		m²				●
			連続鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装		m²				●
			縦目地		m				●
			横目地		m				●
			目地切り・清掃		m				●
		ﾌﾞﾛｯｸ舗装復旧工							
			下層路盤(車道・路肩部)		m²				●
			下層路盤(歩道部)		m²				●
			上層路盤(車道・路肩部)		m²				●
			上層路盤(歩道部)		m²				●
			ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装		m²				●
			特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装		m²				●
			平石張		m²				●
		舗装復旧工（種別毎）							~~●~~
			不陸整正		m²				●
			~~下層路盤~~		~~m²~~				~~●~~
			下層路盤(車道・路肩部)		m²				●
			下層路盤(歩道部)		m²				●
			~~上層路盤~~		~~m²~~				~~●~~
			上層路盤(車道・路肩部)		m²				●
			上層路盤(歩道部)		m²				●
			~~基層~~		~~m²~~				~~●~~
			基層(車道・路肩部)		m²				●
			基層(歩道部)		m²				●
			~~表層~~		~~m²~~				~~●~~
			表層(車道・路肩部)		m²				●
			表層(歩道部)		m²				●
			~~ブロック舗装~~		~~m²~~				~~●~~
			ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装		m²				●
			特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装		m²				●

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工 種 名	管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現　　行	改　　定
10	本工事費内訳の改定		

			防除		本				*
			寄植・芝薬剤散布		㎡				*
			移植		本				*

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工 種 名	管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現　　行	改　　定
10	本工事費内訳の改定		

			~~地先境界ブロック~~		~~m~~				~~*~~
			~~ブロックフェンス~~		~~m~~				~~*~~
			~~車止めポスト~~		~~本~~				~~*~~
			~~雨水ます取付管復旧工~~		~~箇所~~				~~*~~
		側溝復旧工							
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL型側溝		m				*
			L型側溝		m				*
			均しコンクリート		㎡				*
			PC管		m				*
			ﾐｭｰﾑ管（B形管）		m				*
			暗渠排水管		m				*
			管（函）渠型側溝		m				*
			鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管		m				*
			巻きコンクリート		㎥				*
			側溝基礎		m				*
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝		m				*
			ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ		m				*
			自由勾配側溝		m				*
			側溝蓋		枚				*
			雨水ます取付管復旧工		箇所				
		路側防護柵復旧工							
			ｶﾞｰﾄﾚｰﾙ		m				*
			ｶﾞｰﾄﾚｰﾙ		m				*
			ｶﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ		m				*
		縁石復旧工							
			歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ		m				*
			地先境界ﾌﾞﾛｯｸ		m				*
			植樹ﾌﾞﾛｯｸ		m				*
			ｱｽﾌｧﾙﾄ		m				*
		車止めポスト復旧工							
			車止めポスト		本				*
		道路植栽工							~~*~~
			植樹帯盛土		㎥				*
			植樹		本				*
			地被類植付		m²				*
			支柱		本				*
			樹名板		枚				
			~~樹木剪定~~		~~本~~				~~*~~
			~~寄植剪定~~		~~m²~~				~~*~~
			~~樹木施肥~~		~~本~~				~~*~~
			~~寄植・芝施肥~~		~~m²~~				~~*~~
			~~抜根除草~~		~~m²~~				~~*~~
			~~芝刈~~		~~m²~~				~~*~~
			~~灌水~~		~~m²~~				~~*~~
			~~防除~~		~~本~~				~~*~~
			~~移植~~		~~本~~				~~*~~
			~~寄植・芝薬剤散布~~		~~m²~~				~~*~~
		樹木・芝生管理工							
			樹木剪定		本				*
			寄植剪定		㎡				*
			芝刈		㎡				*
			抜根除草		㎡				*
			補植		本				*
			支柱		本				*
			樹木施肥		本				*
			寄植・芝施肥		㎡				*
			灌水		㎡				*

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名　管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
12	表記の修正		

現行

Ａ－１　管きょ工　管径○○mm

路線延長　m　（マンホール中心間の延長）
管渠延長　m　（管の布設延長）

（一式）

種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
管路土工		式	1			**Ｂ－１**
管布設工		式	1			**Ｂ－２**
管基礎工		式	1			**Ｂ－３**
水路築造工		式	1			（下位代価なし）
管路土留工		式	1			**Ｂ－４**
埋設物防護工		式	1			（下位代価なし）
管路路面覆工		式	1			**Ｂ－５**
補助地盤改良工		式	1			**Ｂ－６**
開削水替工		式	1			**Ｂ－７**
地下水低下工		式	1			（下位代価なし）
計						

Ｂ－１　管路土工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
管路掘削		m³	式				**Ｃ－１**
管路埋戻		m³	式				**Ｃ－２**
発生土処理		m³	式				**Ｃ－３**
埋戻土運搬		m³	式				（下位代価なし）
計							

改定

Ａ－１　管きょ工　管径○○mm

路線延長　m　（マンホール中心間の延長）
管渠延長　m　（管の布設延長）

（一式）

種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
管路土工		式	1			**Ｂ－１**
管布設工		式	1			**Ｂ－２**
管基礎工		式	1			**Ｂ－３**
水路築造工		式	1			（下位代価なし）
管路土留工		式	1			**Ｂ－４**
埋設物防護工		式	1			（下位代価なし）
管路路面覆工		式	1			**Ｂ－５**
補助地盤改良工		式	1			**Ｂ－６**
開削水替工		式	1			**Ｂ－７**
地下水位低下工		式	1			~~（下位代価なし）~~ 土木工事標準歩掛による
計						

Ｂ－１　管路土工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
管路掘削		m³	式 or m³				**Ｃ－１**
管路埋戻		m³	式 or m³				**Ｃ－２**
発生土処理		m³	式 or m³				**Ｃ－３**
埋戻土運搬		m³	式 or m³				（下位代価なし）
計							

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名　管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
11	本工事費内訳の改定		

現行

費目（レベル１）	工種（レベル２）	種別（レベル３）	細別（レベル４）	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
		既設構造物撤去工							**Ｂ－13**
			既設構造物撤去		mor箇所				＊
			既設管撤去		m				**Ｃ－25**
			既設人孔撤去		箇所				**Ｃ－26**
			既設汚水ます撤去		箇所				＊
			コンクリート塊運搬処理		m³				＊
	直接工事費計								
共通仮設									
	共通仮設費								
		運搬費			式	1			
		準備費			式	1			
		事業損失防止施設費			式	1			
		安全費			式	1			
		役務費			式	1			
		技術管理費			式	1			
		営繕費			式	1			
		現場環境改善費			式	1			
		現場環境改善費（率計上）			式	1			
	共通仮設費（率計上）								
		共通仮設費（率計上）			式	1			
共通仮設費計									
小計（純工事費）									
	現場管理費				式	1			
	工事中止期間中の現場維持費等				式	1			
計（工事原価）									
	一般管理費等				式	1			
計（工事価格）									
	消費税等相当額				式	1			
本工事費計									

備考　１　地盤改良工及び付帯工は，開削編の**Ａ－９＊**　地盤改良工及び**Ａ－10**　付帯工を参照して積算する。
　　２　立坑工及び仮設工は，**Ａ－８**　立坑工及び**Ａ－11**　仮設工を参照して積算する。
　　３　摘要欄に＊印のあるものは，下位代価なし。

改定

~~費目（レベル１）~~ 工事区分	~~工種（レベル２）~~ 工種	~~種別（レベル３）~~ 種別	~~細別（レベル４）~~ 細別	レベル５ 規格	総括表用単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
		既設構造物撤去工							**Ｂ－13**
			既設構造物撤去		mor箇所				~~＊~~
			既設管撤去		m				**Ｃ－25**
			既設人孔撤去		箇所				**Ｃ－26**
			既設汚水ます撤去		箇所				~~＊~~
			コンクリート塊運搬処理		m³				~~＊~~
	仮設工								**Ａ－11**
~~直接工事費計~~	~~直接工事費計~~								
共通仮設									
	共通仮設費								
		運搬費			式	1			
		準備費			式	1			
		事業損失防止施設費			式	1			
		安全費			式	1			
		役務費			式	1			
		技術管理費			式	1			
		営繕費			式	1			
		現場環境改善費			式	1			
		現場環境改善費（率計上）			式	1			
	共通仮設費（率計上）								
		共通仮設費（率計上）			式	1			
共通仮設費計									
~~小計（~~純工事費~~）~~									
	現場管理費				式	1			
	~~工事中止期間中の現場維持費等~~ 工期延期等に伴う現場維持費等				式	1			
~~計（~~工事原価~~）~~									
	一般管理費等				式	1			
~~計（~~工事価格~~）~~									
	消費税等相当額				式	1			
本工事費計									

備考　１　~~地盤改良工及び付帯工は，開削編の**Ａ－９＊**　地盤改良工及び**Ａ－10**　付帯工を参照して積算する。~~仮設工はⅦ管路施設（仮設工）編を参照して積算する。
　　２　~~立坑工及び仮設工は，**Ａ－８**　立坑工及び**Ａ－11**　仮設工を参照して積算する。~~
　　~~３~~　摘要欄に＊印のあるものは，~~下位代価なし~~国土交通省土木工事標準歩掛によることを標準とする。

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工 種 名　管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
37	表記の修正		

現行

Ｂ－４　管路土留工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
たて込み簡易土留		m	式				C－11
軽量鋼矢板土留		m	式				C－12
アルミ矢板土留		m	式				C－13
木矢板土留		m	式				（下位代価なし）
親杭横矢板土留		m	式				（下位代価なし）
鋼矢板土留		m	式				（下位代価なし）
計							

改定

Ｂ－４　管路土留工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
潰　　棚　　り		m²	式 or m²				土木工事標準歩掛による
たて込み簡易土留		m	式 or m				C－11
軽量鋼矢板土留		m	式 or m				C－12
アルミ矢板土留		m	式 or m				C－13
木矢板土留		m	式 or m				（下位代価なし）
親杭横矢板土留		m	式 or m				（下位代価なし）
鋼矢板土留		m	式 or m				（下位代価なし）
計							

頁	改定趣旨	現行	改定
54	表記の修正		

現行

Ｂ－５　管路路面覆工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
覆工		m²	式				C－14
計							

改定

Ｂ－５　管路路面覆工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
覆工		m²	式 or m²				C－14
計							

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工 種 名　管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
25	表記の修正		

現行

Ｂ－２　管布設工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
鉄筋コンクリート管		m	m				C－4
硬質塩化ビニル管		m	m				C－5
強化プラスチック複合管		m	m				C－6
リブ付硬質塩化ビニル管		m	m				C－7
レジンコンクリート管		m	m				（下位代価なし）
既製くぎ形きょ		m	m				（下位代価なし）
ポリエチレン管		m	m				（下位代価なし）
鋼管		m	m				（下位代価なし）
鋳鉄管		m	m				（下位代価なし）
伸縮可とう継手（管）		箇所	箇所				（下位代価なし）
継手類		箇所	箇所				（下位代価なし）
マンホール削孔接続		箇所	箇所				（下位代価なし）
弁類		箇所	箇所				（下位代価なし）
弁ますぶた類		箇所	箇所				（下位代価なし）
埋設標識テープ		m	m				（下位代価なし）
計							

改定

Ｂ－２　管布設工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
鉄筋コンクリート管		m	m				C－4
硬質塩化ビニル管		m	m				C－5
強化プラスチック複合管		m	m				C－6
リブ付硬質塩化ビニル管		m	m				C－7
レジンコンクリート管		m	m				（下位代価なし）
既製くぎ形きょ		m	m				（下位代価なし）
ポリエチレン管		m	m				（下位代価なし）
鋼管		m	m				（下位代価なし）
鋳鉄管		m	m				（下位代価なし）
伸縮可とう継手（管）		箇所	箇所				（下位代価なし）
継手類		箇所	式 or 箇所				（下位代価なし）
マンホール削孔接続		箇所	箇所				（下位代価なし）
弁類		箇所	箇所				（下位代価なし）
弁ますぶた類		箇所	箇所				（下位代価なし）
埋設標識テープ		m	m				（下位代価なし）
計							

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名　管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
82	表記の修正		

現行

Ｄ－17－１　底部工

（１箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
砕石基礎工	○○－40	m²				**Ｅ－17－１～２**
コンクリート工		m³				（土木工事標準歩掛）
モルタル上塗工	配合１：○	m²				**Ｅ－17－３**
型枠工		m²				（土木工事標準歩掛）
合板円形型枠工		m²				（土木工事標準歩掛）
マンホール鋼製型枠工		m²				**Ｅ－17－４**
計						

備考　型枠工および合板円形型枠工は，「土木工事標準歩掛（コンクリート工･型枠工･型枠工）」による。

改定

Ｄ－17－１　底部工

（１箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
砕石基礎工	○○－40	m²				**Ｅ－17－１～２**
コンクリート工		m³				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
モルタル上塗工	配合１：○	m²				**Ｅ－17－３**
型枠工		m²				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
合板円形型枠工		m²				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
マンホール鋼製型枠工		m²				**Ｅ－17－４**
計						

~~備考　型枠工および合板円形型枠工は，「土木工事標準歩掛（コンクリート工･型枠工･型枠工）」による。~~

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名　管路施設（開削工法）

頁	改定趣旨	現行	改定
59	表記の修正		

現行

Ｂ－６　補助地盤改良工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
薬液注入	○○工法	本	式				**Ｃ－15**
高圧噴射撹拌		本	式				（下位代価なし）
機械撹拌		本	式				（下位代価なし）
計							

改定

Ｂ－６　補助地盤改良工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
薬液注入	○○工法	本	式 or ~~本~~				**Ｃ－15**
高圧噴射撹拌		本	式 or ~~本~~				~~（下位代価なし）~~ 土木工事標準歩掛による
~~機械撹拌~~		~~本~~	~~式~~				~~（下位代価なし）~~
計							

頁	改定趣旨	現行	改定
76	表記の修正		

現行

Ｂ－７　開削水替工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
開削水替		日	式				**Ｃ－16**
計							

改定

Ｂ－７　開削水替工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
開削水替		日	式 or ~~日~~				**Ｃ－16**
計							

頁	改定趣旨	現行	改定
94	表記の修正		

現行

Ａ－１０　付帯工

（一式）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
舗装撤去工		式	1			（下位代価なし）
管路土工		式	1			**Ｂ－１**
舗装復旧工（種別毎）		式	1			（下位代価なし）
舗装仮復旧工（種別毎）		式	1			（下位代価なし）
区画線工		式	1			（下位代価なし）
道路付属物撤去工		式	1			（下位代価なし）
道路付属物復旧工		式	1			（下位代価なし）
道路植栽工		式	1			（下位代価なし）
既設構造物撤去工		式	1			**Ｂ－13**
計						

改定

Ａ－１０　付帯工

（一式）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
舗装~~撤去工~~版破砕工		式	1			~~（下位代価なし）~~ 土木工事標準歩掛による
路面切削工		式	1			土木工事標準歩掛による
管路土工		式	1			**Ｂ－１**
~~舗装復旧工（種別毎）~~		~~式~~	~~1~~			~~（下位代価なし）~~
舗装準備復旧工		式	1			土木工事標準歩掛による
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧工		式	1			土木工事標準歩掛による
ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧工		式	1			土木工事標準歩掛による
ﾌﾞﾛｯｸ舗装復旧工		式	1			土木工事標準歩掛による
舗装仮復旧工（種別毎）		式	1			~~（下位代価なし）~~ 土木工事標準歩掛による
区画線工		式	1			~~（下位代価なし）~~ 土木工事標準歩掛による
~~道路付属物撤去工~~		~~式~~	~~1~~			~~（下位代価なし）~~
排水構造物撤去工		式	1			土木工事標準歩掛による
防護柵撤去工		式	1			土木工事標準歩掛による
縁石撤去工		式	1			土木工事標準歩掛による
運搬処理工		式	1			土木工事標準歩掛による
~~道路付属物復旧工~~		~~式~~	~~1~~			~~（下位代価なし）~~
側溝復旧工		式	1			土木工事標準歩掛による
路側防護柵復旧工		式	1			土木工事標準歩掛による
縁石復旧工		式	1			土木工事標準歩掛による
車止めﾎﾟｽﾄ復旧工		式	1			土木工事標準歩掛による
道路植栽工		式	1			~~（下位代価なし）~~ 土木工事標準歩掛による
樹木・芝生管理工		式	1			土木工事標準歩掛による
既設構造物撤去工		式	1			**Ｂ－13**
計						

頁	改定趣旨	現行	改定
83	表記の修正		

現行

Ｅ－17－３　モルタル上塗工（配合１：○）（マンホール用）　【DGD10740】

（１m²当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
左官		人				**表－17－７**
普通作業員		人				**表－17－７**
モルタル練工		m³				（土木工事標準歩掛）
諸雑費		式	1			端数処理
計						

備考　モルタル練工は，「土木工事標準歩掛（コンクリート工･コンクリート工･モルタル練）」による。

Ｄ－17－２　壁立上り工（平均コンクリート壁高　m）

（１箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
足掛け金物		個				
型枠工		m²				（土木工事標準歩掛）
合板円形型枠工		m²				（土木工事標準歩掛）
マンホール鋼製型枠工		m²				**Ｅ－17－４**
コンクリート工		m³				（土木工事標準歩掛）
諸雑費		式	1			端数処理
計						

備考１　壁上がり部に削孔して足掛け金物を取り付ける場合は，１個あたり特殊作業員 0.05 人，普通作業員 0.05 人を計上する。
【DGD10790】

２　型枠工および合板円形型枠工は，「土木工事標準歩掛（コンクリート工･型枠工･型枠工）」による。

改定

Ｅ－17－３　モルタル上塗工（配合１：○）（マンホール用）　【DGD10740】

（１m²当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
左官		人				**表－17－７**
普通作業員		人				**表－17－７**
モルタル練工		m³				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
諸雑費		式	1			端数処理
計						

~~備考　モルタル練工は，「土木工事標準歩掛（コンクリート工･コンクリート工･モルタル練）」による。~~

Ｄ－17－２　壁立上り工（平均コンクリート壁高　m）

（１箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
足掛け金物		個				
型枠工		m²				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
合板円形型枠工		m²				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
マンホール鋼製型枠工		m²				**Ｅ－17－４**
コンクリート工		m³				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
諸雑費		式	1			端数処理
計						

備考１　壁上がり部に削孔して足掛け金物を取り付ける場合は，１個あたり特殊作業員 0.05 人，普通作業員 0.05 人を計上する。
【DGD10790】

~~２　型枠工および合板円形型枠工は，「土木工事標準歩掛（コンクリート工･型枠工･型枠工）」による。~~

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名	管路施設（推進工法）小口径推進

頁	改定趣旨
106	本工事費内訳の改定

現　行

費目（レベル１）	工種（レベル２）	種別（レベル３）	細別（レベル４）	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
		泥水処理設備工							B－29
			泥水処理設備（小口径泥水）		式	1			C－60
			泥水運搬処理		式or㎥				C－61
		推進水替工							B－30
			推進用水替		式	1			C－62
		補助地盤改良工							B－6
			薬液注入		式or本				C－15
			高圧噴射攪拌		式or本				＊
			機械攪拌		式or本				＊
	立坑工								A－8
	地盤改良工								A－9＊
	付帯工								A－10
	仮設工								A－11
	直接工事費計								
共通仮設									
	共通仮設費								
		運搬費			式	1			
		準備費			式	1			
		事業損失防止施設費			式	1			
		安全費			式	1			
		役務費			式	1			
		技術管理費			式	1			
		営繕費			式	1			
		現場環境改善費			式	1			
		現場環境改善費（率計上）			式	1			
	共通仮設費（率計上）								
		共通仮設費（率計上）			式	1			
共通仮設費計									
小計(純工事費)									
	現場管理費				式	1			
	工事中止期間中の現場維持費等				式	1			
計(工事原価)									
	一般管理費等				式	1			
計(工事価格)									
	消費税等相当額				式	1			
本工事費計									

備考　1　地盤改良工及び付帯工は，開削編のA－9＊地盤改良工及びA－10付帯工を参照して積算する。
2　立坑工及び仮設工は，A－8立坑工及びA－11仮設工を参照して積算する。
3　送・排泥設備工，泥水処理設備工，推進水替工は，推進工法編（小口径推進・中大口径推進　共通）のB－28～B－30を参照して積算する。
4　摘要欄に＊印のあるものは，下位代価なし。

改　定

~~費目（レベル１）工事区分~~	~~工種（レベル２）工種~~	~~種別（レベル３）種別~~	~~細別（レベル４）細別~~	~~レベル５規格~~	~~総括表用単位~~	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
		泥水処理設備工							B－29
			泥水処理設備（小口径泥水）		式	1			C－60
			泥水運搬処理		式or㎥				C－61
		推進水替工							B－30
			推進用水替		式	1			C－62
		補助地盤改良工							B－6
			薬液注入		式or本				C－15
			高圧噴射攪拌		式or本				＊
			~~機械攪拌~~		~~式or本~~				~~＊~~
	立坑工								A－8
	地盤改良工								~~A－9＊~~
	付帯工								A－10
	仮設工								A－11
~~直接工事費計~~	~~直接工事費計~~								
共通仮設									
	共通仮設費								
		運搬費			式	1			
		準備費			式	1			
		事業損失防止施設費			式	1			
		安全費			式	1			
		役務費			式	1			
		技術管理費			式	1			
		営繕費			式	1			
		現場環境改善費			式	1			
		現場環境改善費（率計上）			式	1			
	共通仮設費（率計上）								
		共通仮設費（率計上）			式	1			
共通仮設費計									
~~小計~~(純工事費)									
		現場管理費			式	1			
	~~工事中止期間中の~~現場維持費等				式	1			
~~計~~(工事原価)									
		一般管理費等			式	1			
~~計~~(工事価格)									
	消費税等相当額				式	1			
本工事費計									

備考　1　~~地盤改良工及び付帯工は，開削編のA－9＊地盤改良工及びA－10付帯工を参照して積算する。~~立坑工はⅥ管路施設（立坑）編を参照して積算する。
2　~~立坑工及び仮設工は，A－8立坑工及びA－11仮設工を参照して積算する。~~付帯工はⅠ管路施設（開削工法）編を参照して積算する。
3　仮設工はⅥ管路施設（仮設工）編を参照して積算する。
4　送・排泥設備工，泥水処理設備工，推進水替工は，管路施設（推進工法）編（小口径推進・中大口径推進　共通）のB－28～B－30を参照して積算する。
5　摘要欄に＊印のあるものは，~~下位代価なし。~~国土交通省土木工事標準歩掛によることを標準とする。

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工種名	管路施設（推進工法）小口径推進

頁	改定趣旨
105	本工事費内訳の改定

現　行

Ⅱ　本工事費内訳

費目（レベル１）	工種（レベル２）	種別（レベル３）	細別（レベル４）	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
管路									
	管きょ工（小口径推進，管径○○mm，○○工法）								A－5
		仮管併用推進工							＊
		オーガ掘削推進工							＊
		小口径泥水推進工							B－20
			推進用鉄筋コンクリート管（小口径泥水）		m				C－40
			発生土処理		m³or式				C－3
		小口径泥土圧推進工							B－21
			推進用鉄筋コンクリート管（小口径泥土圧）		m				C－41
			発生土処理		m³or式				C－3
		オーガ掘削鋼管推進工							＊
		鋼製さや管ボーリング（一重ケーシング）推進工							B－22
			推進用鋼管		m				C－42
			発生土処理		m³or式				C－43
			挿入用塩ビ管		m				C－44
			中込め		m³				C－45
		取付管ボーリング（一重ケーシング）推進工							B－23
			推進用鋼管		m				C－46
			発生土処理		m³or式				C－43
			コア抜き		箇所				C－47
			挿入用塩ビ管		m				C－48
			中込め		m³				C－49
		低耐荷力圧入二工程推進工							B－24
			推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力圧入二工程）		m				C－50
			発生土処理		m³or式				C－3
		低耐荷力オーガ推進工							B－25
			推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力オーガ）		m				C－51
			発生土処理		m³or式				C－3
		低耐荷力泥土圧推進工							B－26
			推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力泥土圧）		m				C－52
			発生土処理		m³or式				C－3
		各種小口径推進工							＊
			各種推進用円形管		m				＊
			発生土処理		m³or式				C－3
		立坑内管布設工							＊
			鉄筋コンクリート管		m				C－4
			硬質塩化ビニル管		m				C－5
			砂基礎		m				C－8
			砕石基礎		m				C－9
			コンクリート基礎		m				＊
		仮設備工（小口径）							B－27
			坑口（小口径）		式or箇所				C－53
			立坑基礎		式or箇所				C－54
			鏡切り		式or箇所				C－55
			推進設備等設置撤去		式or箇所				C－56
			支圧壁		式or箇所				C－57
			中込め注入設備工		式or箇所				C－58
		送・排泥設備工							B－28
			送・排泥設備（小口径泥水）		式	1			C－59

改　定

Ⅱ　本工事費内訳

~~費目（レベル１）工事区分~~	~~工種（レベル２）工種~~	~~種別（レベル３）種別~~	~~細別（レベル４）細別~~	~~レベル５規格~~	~~総括表用単位~~	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
管路									
	管きょ工（小口径推進，管径○○mm，○○工法）								A－5
		仮管併用推進工							~~＊~~
		オーガ掘削推進工							~~＊~~
		小口径泥水推進工							B－20
			推進用鉄筋コンクリート管（小口径泥水）		m				C－40
			発生土処理		m³or式				C－3
		小口径泥土圧推進工							B－21
			推進用鉄筋コンクリート管（小口径泥土圧）		m				C－41
			発生土処理		m³or式				C－3
		オーガ掘削鋼管推進工							~~＊~~
		鋼製さや管ボーリング（一重ケーシング）推進工							B－22
			推進用鋼管		m				C－42
			発生土処理		m³or式				C－43
			挿入用塩ビ管		m				C－44
			中込め		m³				C－45
		取付管ボーリング（一重ケーシング）推進工							B－23
			推進用鋼管		m				C－46
			発生土処理		m³or式				C－43
			コア抜き		箇所				C－47
			挿入用塩ビ管		m				C－48
			中込め		m³				C－49
		低耐荷力圧入二工程推進工							B－24
			推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力圧入二工程）		m				C－50
			発生土処理		m³or式				C－3
		低耐荷力オーガ推進工							B－25
			推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力オーガ）		m				C－51
			発生土処理		m³or式				C－3
		低耐荷力泥土圧推進工							B－26
			推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力泥土圧）		m				C－52
			発生土処理		m³or式				C－3
		各種小口径推進工							~~＊~~
			各種推進用円形管		m				~~＊~~
			発生土処理		m³or式				C－3
		立坑内管布設工							~~＊~~
			鉄筋コンクリート管		m				C－4
			硬質塩化ビニル管		m				C－5
			砂基礎		m				C－8
			砕石基礎		m				C－9
			コンクリート基礎		m				~~＊~~
		仮設備工（小口径）							B－27
			坑口（小口径）		式or箇所				C－53
			立坑基礎		式or箇所				C－54
			鏡切り		式or箇所				C－55
			推進設備等設置撤去		式or箇所				C－56
			支圧壁		式or箇所				C－57
			中込め注入設備工		式or箇所				C－58
		送・排泥設備工							B－28
			送・排泥設備（小口径泥水）		式	1			C－59

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工 種 名　管路施設（推進工法）小口径推進

頁	改定趣旨	現行	改定

126 機械規格の変更

現行

Ｄ－42－１　推進工（鋼製さや管ポーリング（一重ケーシング））　【DGD21510】（１ｍ当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
土木一般世話役		人	1.0			
特殊作業員		人	1.0			
普通作業員		人	1.0			
溶接工		人	1.0			
クレーン装置付トラック運転費	４ｔ級，2.9ｔ吊	日	1.0			**機－18**
推進工機械器具損料		日	1			**Ｅ－42－１**
発動発電機運転費（１）	排出ガス対策型（第１次基準値).60KVA	日	1.0			**機－16** 鋼管呼び径 250～600 の場合
発動発電機運転費（２）	排出ガス対策型（第１次基準値).125KVA	日	1.0			**機－16** 鋼管呼び径 700～800 の場合
トラック損料	４～4.5ｔ積	日	1.0×α			備考１
諸雑費		式	1			備考２
計						１日当り
１ｍ当り						計／推進標準日進量（**機－42－１**）

備考　１　トラック損料は，「建設機械等損料算定表」の供用１日当たり損料額（11）欄を用いること。
　　α：供用日の割増率
　　２　諸雑費は，溶接棒等の費用で，労務費の合計額に１％の率を乗じた金額を上限として計上する。

改定

Ｄ－42－１　推進工（鋼製さや管ポーリング（一重ケーシング））　【DGD21510】（１ｍ当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
土木一般世話役		人	1.0			
特殊作業員		人	1.0			
普通作業員		人	1.0			
溶接工		人	1.0			
クレーン装置付トラック運転費	４ｔ級，2.9ｔ吊	日	1.0			**機－18**
推進工機械器具損料		日	1			**Ｅ－42－１**
発動発電機運転費（１）	排出ガス対策型（第１次基準値).60KVA	日	1.0			**機－16** 鋼管呼び径 250～600 の場合
発動発電機運転費（２）	排出ガス対策型（第１次基準値).~~125~~100KVA	日	1.0			**機－16** 鋼管呼び径 700～800 の場合
トラック損料	４～4.5ｔ積	日	1.0×α			備考１
諸雑費		式	1			備考２
計						１日当り
１ｍ当り						計／推進標準日進量（**機－42－１**）

備考　１　トラック損料は，「建設機械等損料算定表」の供用１日当たり損料額（11）欄を用いること。
　　α：供用日の割増率
　　２　諸雑費は，溶接棒等の費用で，労務費の合計額に１％の率を乗じた金額を上限として計上する。

128 機械規格の変更

現行

（５）　機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クレーン装置付トラック	４ｔ級，2.9ｔ吊	**機－18**	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33 機械損料数量→1.2
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型（第１次基準値），45kVA	**機－16**	燃料消費量→41 機械賃料数量→1.2
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型（第１次基準値），60kVA		燃料消費量→56 機械賃料数量→1.2
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型（第１次基準値），125kVA		燃料消費量→116 機械賃料数量→1.2

改定

（５）　機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クレーン装置付トラック	４ｔ級，2.9ｔ吊	**機－18**	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33 機械損料数量→1.2
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型（第１次基準値），45kVA	**機－16**	燃料消費量→41 機械賃料数量→1.2
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型（第１次基準値），60kVA		燃料消費量→56 機械賃料数量→1.2
	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型（第１次基準値），~~125~~100kVA		燃料消費量→~~116~~88 機械賃料数量→1.2

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工 種 名　管路施設（推進工法）小口径推進

108 表記の修正

現行

Ｂ－20　小口径泥水推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用鉄筋コンクリート管（小口径泥水）		m	m				**Ｃ－40**
発生土処理		m³	式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

改定

Ｂ－20　小口径泥水推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用鉄筋コンクリート管（小口径泥水）		m	m				**Ｃ－40**
発生土処理		m³	m³ or 式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

116 表記の修正

現行

Ｂ－21　小口径泥土圧推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用鉄筋コンクリート管（小口径泥土圧）		m	m				**Ｃ－41**
発生土処理		m³	式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

改定

Ｂ－21　小口径泥土圧推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用鉄筋コンクリート管（小口径泥土圧）		m	m				**Ｃ－41**
発生土処理		m³	m³ or 式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

123 表記の修正

現行

Ｂ－22　鋼製さや管ポーリング（一重ケーシング）推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用鋼管		m	m				**Ｃ－42**
発生土処理		m³	式				**Ｃ－43**
挿入用塩ビ管		m	m				**Ｃ－44**
中込め		m³	m³				**Ｃ－45**
計							

改定

Ｂ－22　鋼製さや管ポーリング（一重ケーシング）推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用鋼管		m	m				**Ｃ－42**
発生土処理		m³	m³ or 式				**Ｃ－43**
挿入用塩ビ管		m	m				**Ｃ－44**
中込め		m³	m³				**Ｃ－45**
計							

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工 種 名　管路施設（推進工法）小口径推進

頁	改定趣旨	現行	改定
145	表記の修正		

現行

Ｂ－26　低耐荷力泥土圧推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力泥土圧）		m	m				**Ｃ－52**
発生土処理		m³	式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

改定

Ｂ－26　低耐荷力泥土圧推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力泥土圧）		m	m				**Ｃ－52**
発生土処理		m³	m³ or 式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

頁	改定趣旨	現行	改定
154	表記の修正		

現行

Ｃ－54　立坑基礎

（１箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
コンクリート工		m³				（土木工事標準歩掛）
砕石基礎工	○○－40	m²				（土木工事標準歩掛）
計						

改定

Ｃ－54　立坑基礎

（１箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
コンクリート工		m³				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
砕石基礎工	○○－40	m²				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
計						

頁	改定趣旨	現行	改定
167	表記の修正		

現行

Ｄ－57－１　支圧壁工（小口径泥水）

（１箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
鋼材設置工		t				（土木工事標準歩掛）
鋼材撤去工		t				（土木工事標準歩掛）
計						○○箇所当り
１箇所当り						計／○○箇所

備考　鋼材設置工および鋼材撤去工は，「土木工事標準歩掛（仮設工･仮設材設置撤去工･切梁・腹起し設置,撤去）」による。

改定

Ｄ－57－１　支圧壁工（小口径泥水）

（１箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
鋼材設置工		t				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
鋼材撤去工		t				~~（土木工事標準歩掛）~~ 土木工事標準歩掛による
計						○○箇所当り
１箇所当り						計／○○箇所

~~備考　鋼材設置工および鋼材撤去工は，「土木工事標準歩掛（仮設工･仮設材設置撤去工･切梁・腹起し設置,撤去）」による。~~

下水道用設計標準歩掛表の一部改定　　第１巻　管路

工 種 名　管路施設（推進工法）小口径推進

頁	改定趣旨	現行	改定
129	表記の修正		

現行

Ｂ－23　取付管ボーリング（一重ケーシング）推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用鋼管		m	m				**Ｃ－46**
発生土処理		m³	式				**Ｃ－43**
コア抜き		箇所	箇所				**Ｃ－47**
挿入用塩ビ管		m	m				**Ｃ－48**
中込め		m³	m³				**Ｃ－49**
計							

改定

Ｂ－23　取付管ボーリング（一重ケーシング）推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用鋼管		m	m				**Ｃ－46**
発生土処理		m³	m³ or 式				**Ｃ－43**
コア抜き		箇所	箇所				**Ｃ－47**
挿入用塩ビ管		m	m				**Ｃ－48**
中込め		m³	m³				**Ｃ－49**
計							

頁	改定趣旨	現行	改定
136	表記の修正		

現行

Ｂ－24　低耐荷力圧入二工程推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力圧入二工程）		m	m				**Ｃ－50**
発生土処理		m³	式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

改定

Ｂ－24　低耐荷力圧入二工程推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力圧入二工程）		m	m				**Ｃ－50**
発生土処理		m³	m³ or 式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

頁	改定趣旨	現行	改定
141	表記の修正		

現行

Ｂ－25　低耐荷力オーガ推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力オーガ）		m	m				**Ｃ－51**
発生土処理		m³	式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							

改定

Ｂ－25　低耐荷力オーガ推進工

（一式）

種目	形状寸法	単位	総括表単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
推進用硬質塩化ビニル管（低耐荷力オーガ）		m	m				**Ｃ－51**
発生土処理		m³	m³ or 式				**Ｃ－３**（開削代価）
計							